

長期基本計画審議会最終答申（案）【中間答申との比較】

中間答申	最終答申案	摘要欄
<p>1 諮問事項・趣旨 (※略)</p> <p>2 基本構想改定の必要性 (1) 基本構想とは ○基本構想は、<u>基本理念・将来像など長期的指針を定めたものです。</u> (※略)</p> <p>(2) 現基本構想の検証 (※略)</p> <p>3 新たな基本構想 (1) 基本理念 (※略)</p> <p>(2) 将来像 【策定の視点】 基本構想では、概ね 10 年後を想定して、板橋区全体の将来像（「あるべき姿」）を定めます。 (※略)</p> <p>(将来像の説明) (※略)</p> <p>○「緑と文化のまち」は、現基本構想の将来像で表している状態を継承し、「緑のまち」は、武蔵野の面影を残す赤塚の森や、広大な河川敷を有する荒川、美しい桜並木に彩られる石神井川など、水や緑に恵まれた豊かな自然があるとともにより平和でやすらぎのある安全な</p>	<p>1 諮問事項・趣旨 (※略)</p> <p>2 基本構想改定の必要性 (1) 基本構想とは ○基本構想は、<u>将来の板橋区の望ましいまちの姿を示すものであり、区政の長期的指針として、区内のあらゆる主体が共有するものです。</u> (※略)</p> <p>(2) 現基本構想の検証 (※略)</p> <p>3 新たな基本構想 (1) 基本理念 (※略)</p> <p>(2) 将来像 【策定の視点】 基本構想では、<u>平成 28 年度から</u>概ね 10 年後を想定して、板橋区全体の将来像（「あるべき姿」）を定めます。 (※略)</p> <p>(将来像の説明) (※略)</p> <p>○「緑と文化のまち」は、現基本構想の将来像で表している状態を継承し、「緑のまち」は、武蔵野の面影を残す赤塚の森や、広大な河川敷を有する荒川、美しい桜並木に彩られる石神井川、<u>住宅と工場が共存する地域に水辺の潤いをもたらす新河岸川</u>など、水や緑に恵ま</p>	<p>基本理念については、次の「3 新たな基本構想」の中で説明していますので、よりわかりやすい表現に改めます。</p> <p>概ね 10 年後の始期を明確にすることで、将来像の実現する時期をわかりやすくします。</p> <p>パブリックコメントにおいて、荒川や石神井川のみならず、工業系から住居系に用途変更が進んでいる新河岸川の水辺景観も重要であるという意見がありました。石神井川と同じく身近な河川として新河岸川周辺の水辺空間が良好に保全されていくことが望ましいと考えられるため、将来像</p>

中間答申	最終答申案	摘要欄
<p>生活環境を表しており、「文化のまち」は、板橋に根付いた文化・芸術・スポーツなどに親しみ、新たな地域文化の創出に積極的に取り組む区民のこころの豊かさを表しています。</p> <p>(3) 政策分野別の「あるべき姿」 (※略) ③健康分野：「豊かな健康長寿社会」ビジョン (※略) ④福祉・介護分野：「安心の福祉・介護」ビジョン (※略)</p> <p>⑥産業分野：「光輝く板橋ブランド・産業活力」ビジョン 【概ね10年後の「あるべき姿」】 都内有数の産業集積地である優位性を存分に発揮し、戦後の区の成長を支えてきた光学・精密機器関連産業によって培われた技術力を背景に新しい産業が生まれ、「ものづくりの板橋」としてのブランドが定着しています。 企業や個性ある商店街、数多く立地する医療関連機関、大学や研究機関、農地などの地域資源や都市交流が活かされた産業活力・観光振興によって地域経済が活性化するとともに、様々な地域課題を解決してい</p>	<p>れた豊かな自然と平和でやすらぎのある安全な生活環境を表しており、「文化のまち」は、板橋に根付いた文化・芸術・スポーツなどに親しみ、新たな地域文化の創出に積極的に取り組む区民のこころの豊かさを表しています。</p> <p>(3) 政策分野別の「あるべき姿」 (※略) ③福祉・介護分野：「安心の福祉・介護」ビジョン (※略) ④健康分野：「豊かな健康長寿社会」ビジョン (※略)</p> <p>⑥産業分野：「光輝く板橋ブランド・産業活力」ビジョン 【概ね10年後の「あるべき姿」】 都内有数の産業集積地である優位性を存分に発揮し、戦後の区の成長を支えてきた光学・精密機器関連産業によって培われた技術力を背景に新しい産業が生まれ、「ものづくりの板橋」としてのブランドが定着しています。 <u>消費者のニーズに対応した魅力ある個店が増え、商店街が地域と連携して、まちに活気をもたらしています。</u> <u>また、数多く立地する医療関連機関、大学・研究機関や企業、農地などの地域資源</u></p>	<p>の「緑のまち」の説明の中に、「住宅と工場が共存する地域に水辺の潤いをもたらす新河岸川」を追加します。</p> <p>順番を入れ替えることによって、基本理念の順番に対して政策分野が3つずつ概ね対応し、わかりやすくなります。 基本理念①「あたたかい気持ちで支えあう」 ⇒「子育て」「教育」「<u>福祉・介護</u>」 基本理念②「元気なまちをみんなでつくる」 ⇒「<u>健康</u>」「文化・スポーツ」「産業」 基本理念③「みどり豊かな環境を未来へつなぐ」 ⇒「環境」「防災・危機管理」「都市づくり」</p> <p>パブリックコメントでは、産業分野で商店街のことがあまり触れられていないという意見がありました。中間答申では、基本計画に盛り込む施策のあり方として、魅力的で個性ある商店街の活性化や、地域コミュニティの担い手としての商店街機能の強化を盛り込んでいましたが、魅力的で個性ある商店街の活性化によって、消費者のニーズに対応した魅力ある個店が増え、地域コミュニティの担い手としての商店街機能の強化によって、商店街が地域と連携し、まちに活気をもたらす状態になることをビジョンに盛り込みます。併せて、後続の段落を文言修正します。</p>

中間答申	最終答申案	摘要欄
<p>ます。 生活と産業が共存・調和する環境の中から、新しい明日（価値）が生み出され、楽しく心豊かに暮らせるまちを実現しています。 (※略)</p> <p>⑦環境分野：「緑と環境共生」ビジョン 【概ね10年後の「あるべき姿」】 人と環境が共生するまち「エコポリス板橋」の実現に向けて、区民・事業者・行政の協働によるまちづくりが進んでいます。 地球温暖化を防ぐ省エネルギー化の取り組みや再生可能エネルギーなどの活用が進み、低炭素社会を実現するまちづくりが進んでいます。 区民一人ひとりや事業所のごみ減量・リサイクルに対する意識が高く、地域全体で取り組みが進み、資源循環型社会が実現しています。 武蔵野台地の面影を残す徳丸・赤塚の樹林地、広大な河川敷を有する荒川や美しい桜並木に彩られる石神井川など、水と緑やきれいな空気に囲まれ、生物の多様性が保全されるなど、自然環境との共生が進んでいます。 (※略)</p>	<p><u>の活用と都市交流・観光振興によって地域経済が活性化され、</u>様々な地域課題を解決しています。 (※略)</p> <p>⑦環境分野：「緑と環境共生」ビジョン 【概ね10年後の「あるべき姿」】 人と環境が共生するまち「エコポリス板橋」の実現に向けて、区民・事業者・行政の協働によるまちづくりが進んでいます。 地球温暖化を防ぐ省エネルギー化の取り組みや再生可能エネルギーなどの活用が進み、低炭素社会を実現するまちづくりが進んでいます。 区民一人ひとりや事業所のごみ減量・リサイクルに対する意識が高く、地域全体で取り組みが進み、資源循環型社会が実現しています。 武蔵野台地の面影を残す徳丸・赤塚の樹林地、広大な河川敷を有する荒川、<u>美しい桜並木に彩られる石神井川、住宅と工場が共存する地域に水辺の潤いをもたらす新河岸川</u>など、水と緑やきれいな空気に囲まれ、生物の多様性が保全されるなど、自然環境との共生が進んでいます。 (※略)</p>	<p>将来像の説明部分において「新河岸川」を追加したことに併せて、「緑と環境共生」ビジョンにおいても「新河岸川」を追加します。</p>

中間答申	最終答申案	摘要欄
<p>(4) 基本構想を実現するための方策</p> <p>① <u>基本計画・実施計画・行財政改革計画の策定と推進</u></p> <p>基本構想の実現に向けて、区は基本計画を策定し、平成 28 年度から 10 年間で取り組む施策の方向性を示すとともに、<u>短期的なアクションプログラムとして実施計画とその原動力となる行財政改革計画を策定して、着実に推進していく必要があります。</u></p> <p>(※略)</p>	<p>(4) 基本構想を実現するための方策</p> <p>① <u>基本計画の策定と着実な推進</u></p> <p>基本構想の実現に向けて、区は基本計画を策定し、平成 28 年度から 10 年間で取り組む施策の方向性を示すとともに、<u>基本計画を推進する実施計画など短期的なアクションプログラムを策定して、着実に実行していく必要があります。</u></p> <p>(※略)</p>	<p>基本計画・実施計画・行財政改革計画を並列で記載していましたが、実施計画・行財政改革計画は基本計画を推進するための方策であるため、基本構想を実現するための方策としては、「基本計画の策定と着実な推進」とした方がわかりやすくなります。そのうえで、基本計画を推進するために、実施計画など短期的なアクションプログラムを策定し、着実に実行していく必要があるという内容に修正します。</p>

中間答申	最終答申案	摘要欄
<p>4 新たな基本計画に盛り込むべき「施策のあり方」</p> <p>(1) 政策分野別の「あるべき姿」を実現する「施策のあり方」</p> <p>(※略)</p> <p>②教育分野：「魅力ある学び支援」ビジョン</p> <p>(施策のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの<u>学ぶ力・学び続ける力</u>、豊かな心、健やかな体の育成 ○変化の激しい社会をたくましく生きる力の養成 ○個に応じた特別支援教育の充実 ○子どもの貧困の連鎖対策 ○学校・家庭・地域における教育力の向上と連携 ○大学との連携による教育力の向上 ○保幼小中の連携による一貫した教育の推進 ○安心・安全で魅力的な教育環境の整備 ○ICT化やグローバル化に対応した学習環境の充実 ○学齢期の子育て世帯への魅力発信 ○青少年の居場所づくりと健全育成 ○ライフステージに応じた学習機会の充実と環境の整備 <p>(※略)</p>	<p>4 新たな基本計画に盛り込むべき「施策のあり方」</p> <p>(1) 政策分野別の「あるべき姿」を実現する「施策のあり方」</p> <p>(※略)</p> <p>②教育分野：「魅力ある学び支援」ビジョン</p> <p>(施策のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの<u>学ぼうとする力・学ぶ力・学び続ける力</u>、豊かな心、健やかな体の育成 ○変化の激しい社会をたくましく生きる力の養成 ○個に応じた特別支援教育の充実 ○子どもの貧困の連鎖対策 ○学校・家庭・地域における教育力の向上と連携 ○<u>地域の人材を活かした学校・家庭支援の促進</u> ○大学との連携による教育力の向上 ○保幼小中の連携による一貫した教育の推進 ○安心・安全で魅力的な教育環境の整備 ○ICT化やグローバル化に対応した学習環境の充実 ○学齢期の子育て世帯への魅力発信 ○青少年の居場所づくりと健全育成 ○ライフステージに応じた学習機会の充実と環境の整備 <p>(※略)</p>	<p>教育分野の「魅力ある学び支援」ビジョンで掲げる「子どもたちの21世紀社会を担うためにたくましく生きる力」をはぐくむ確かな学力として、より主体的な意欲を表す表現を追加します。</p> <p>パブリックコメントでは、「学校・家庭・地域による教育力の向上と連携」に「大学生による児童保育ボランティア」や「地域高齢者による小・中学校特別授業」など、具体的な新規施策がイメージされるような例示を表記できれば好ましいという意見がありましたが、審議会の考え方としては、10年後を見据えて、あまり具体的に記述せず、わかりやすい表現に改める方向で検討するところです。大学生や地域高齢者などの「地域の人材を活かした学校・家庭支援の促進」と表現します。</p>

中間答申	最終答申案	摘要欄
<p>⑤文化・スポーツ分野：「心躍るスポーツ・文化」ビジョン (施策のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化芸術創造活動に対する支援と文化芸術へいざなう機会の充実 ○伝統文化・歴史的文化財の活用と次世代への継承 ○友好・姉妹都市との交流促進 ○多言語・多文化対応など外国人の生活・コミュニケーション支援の充実 ○平和意識の醸成 ○区民のだれもがスポーツに親しみ、参画することを促進 ○スポーツによる地域の活性化や一体感の創出 ○<u>運動しやすい環境の整備と体育施設の効果的・効率的な活用</u> <p>⑥産業分野：「光輝く板橋ブランド・産業活力」ビジョン (施策のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○創業しやすい環境の創出と産業集積の維持・立地促進 ○生活と産業が調和したまちづくりの推進 ○<u>地域資源の積極的な活用による新たな価値の創造</u> ○大学や研究機関との連携による人材の育成と企業支援 ○企業経営の安定化と競争力の強化 	<p>⑤文化・スポーツ分野：「心躍るスポーツ・文化」ビジョン (施策のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化芸術創造活動に対する支援と文化芸術へいざなう機会の充実 ○伝統文化・歴史的文化財の活用と次世代への継承 ○友好・姉妹都市との交流促進 ○多言語・多文化対応など外国人の生活・コミュニケーション支援の充実 ○平和意識の醸成 ○区民のだれもがスポーツに親しみ、参画することを促進 ○スポーツによる地域の活性化や一体感の創出 ○<u>スポーツに親しみ</u>やすい環境の整備と<u>スポーツ施設</u>の効果的・効率的な活用 <p>⑥産業分野：「光輝く板橋ブランド・産業活力」ビジョン (施策のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○創業しやすい環境の創出と産業集積の維持・立地促進 ○生活と産業が調和したまちづくりの推進 ○<u>医療関連機関や光学・精密機器関連産業など地域資源を活かした</u>新たな価値の創造 ○大学や研究機関との連携による人材の育成と企業支援 	<p>「心躍るスポーツ・文化」ビジョンで表現した「スポーツを世界共通の文化として親しみ、様々な方法で楽しむ」ための施策のあり方の一つとして、「運動しやすい環境の整備と体育施設の効果的・効率的な活用」を挙げていましたが、運動にとどまらず、スポーツを「みる・知る・楽しむ」視点も重要であることから、「スポーツに親しみやすい環境の整備とスポーツ施設の効果的・効率的な活用」という表現に改めます。</p> <p>パブリックコメントでは、医療機関の一層の集積とネットワーク化を加えてほしいという意見がありました。審議会の考え方としては、「地域資源の積極的な活用による新たな価値の創造」に含まれているものの、わかりやすい表現に改める方向で検討するとしたところです。恵まれた医療ストックに限定せず、光学関連産業によって培われてきた技術力など、区の強みを活かして新しいものを生み出していく施策のあり方を「医療関連機関や光学・精密機器関連産業など地域資源を活かした新たな価値の創造」と表現します。</p>

中間答申	最終答申案	摘要欄
<ul style="list-style-type: none"> ○事業承継の促進 ○地域コミュニティの担い手としての商店街機能の強化 ○魅力的で個性ある商店街の活性化 ○農地保全と農の活用 ○「もてなしの心」による魅力ある観光振興と都市交流の推進 ○女性や若年者の雇用・生活の安定確保 ○消費生活情報の効果的な発信による意識啓発と相談体制の充実 <p>(※略)</p> <p>⑦環境分野：「緑と環境共生」ビジョン (施策のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スマートシティの考え方を取り入れた施策の推進 ○自然の恵みを活かしたエネルギーなど再生可能エネルギーの利用促進 ○環境教育の推進と人材の育成 ○3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進 ○大気汚染や騒音などの公害抑制と環境美化による快適で健康的な生活環境の維持・確保 ○<u>緑と公園が充実した魅力的な環境の維持・創出</u> ○自然環境や生物多様性の保全と共生の促進 <p>(※略)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○企業経営の安定化と競争力の強化 ○事業承継の促進 ○地域コミュニティの担い手としての商店街機能の強化 ○魅力的で個性ある商店街の活性化 ○農地保全と農の活用 ○「もてなしの心」による魅力ある観光振興と都市交流の推進 ○女性や若年者の雇用・生活の安定確保 ○消費生活情報の効果的な発信による意識啓発と相談体制の充実 <p>(※略)</p> <p>⑦環境分野：「緑と環境共生」ビジョン (施策のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スマートシティの考え方を取り入れた施策の推進 ○自然の恵みを活かしたエネルギーなど再生可能エネルギーの利用促進 ○環境教育の推進と人材の育成 ○3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進 ○大気汚染や騒音などの公害抑制と環境美化による快適で健康的な生活環境の維持・確保 ○<u>緑と公園が充実した魅力的な環境や良好な水辺空間の維持・創出</u> ○自然環境や生物多様性の保全と共生の促進 <p>(※略)</p>	<p>パブリックコメントでは、「緑と公園が充実した魅力的な環境の維持・創出」に「水辺空間」を追加してほしいという意見がありました。審議会の考え方としては、荒川や石神井川・新河岸川の水辺や湧水など水環境の保全・創出は重要な環境施策の一つであることから、施策のあり方に盛り込む方向で検討するとしたところです。「良好な水辺空間の維持・創出」を施策のあり方に追加します。</p>

中間答申	最終答申案	摘要欄
<p>⑨都市づくり分野：「快適で魅力あるまち」ビジョン (施策のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○にぎわいと交流のある魅力的なまちづくりの推進 ○駅周辺や商店街を中心にコンパクトなまちづくりの推進 ○ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 ○道路・交通ネットワークの整備促進 ○歩行者の安全確保 ○多様で良質な住まい・住環境の確保 ○高齢者・障がい者などの住宅セーフティネットの充実 ○美しいまちなみ景観の推進 	<p>⑨都市づくり分野：「快適で魅力あるまち」ビジョン (施策のあり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○にぎわいと交流のある魅力的なまちづくりの推進 ○駅周辺や商店街を中心にコンパクトなまちづくりの推進 ○ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 ○道路・交通ネットワークの整備促進 ○歩行者の安全確保 ○自転車の安全利用の促進 ○多様で良質な住まい・住環境の確保 ○高齢者・障がい者などの住宅セーフティネットの充実 ○美しいまちなみ景観の推進 	<p>パブリックコメントでは、環境面・健康面から自転車移動の増加が想定されるため、「歩行者の安全確保」に「自転車道の整備」を追加してほしいという意見がありました。審議会の考え方としては、「自転車道の整備」は「歩行者の安全確保」や「自転車の安全利用」を促進するための具体的な事務事業の一つであることから、施策のあり方として、よりわかりやすい表現を検討するところと見られます。「自転車の安全利用の促進」という表現で追加します。</p>

中間答申	最終答申案	摘要欄
<p>(2) 施策・組織横断的に協働・連携する戦略の必要性</p> <p>基本構想で掲げた将来像を実現するためには、政策分野別における施策間の連携はもとより、<u>関係する多様な主体が協働・連携する関係を築くことが重要です。さらには、ターゲット(対象)を明確にして限られた資源を集中投下する戦略を立て、政策分野や組織を越えて横断的に取り組むことが必要です。</u></p> <p>例えば、子育て世代にとっては、出産から子どもの成長過程において、子育て、教育、医療、福祉など総合的な支援が必要であり、これら各分野における行政内部や関係機関との連携はもとより、地域や事業者、企業、大学、NPO・ボランティアなどの支えが必要です。さらには、商店街による子育て支援、工場によるものづくり体験、外出しやすいまちづくりなどによって、質の高い多様な教育の機会が与えられます。</p> <p>(※略)</p> <p><u>これら以外にも、環境に配慮したまちづくり(スマートシティ)の推進など、政策分野を越えて横断的に取り組んでいく中長期的な戦略を基本計画に盛り込んで実践していくことが重要です。</u></p> <p>(※略)</p>	<p>(2) 施策・組織横断的に協働・連携する戦略の必要性</p> <p>基本構想で掲げた将来像を実現するためには、政策分野別における施策間の連携はもとより、政策分野や組織を越えて、関係する多様な主体が協働・連携する関係を築き、横断的に取り組むことが必要です。</p> <p>例えば、子育て世代にとっては、安心して子どもを産み育てられるよう、出産から子どもの成長過程において、子育て、教育、医療、福祉など総合的な支援が必要であり、これら各分野における行政内部や関係機関との連携はもとより、地域や事業者、企業、大学、NPO・ボランティアなどの支えが必要です。さらには、商店街による子育て支援、工場によるものづくり体験、外出しやすいまちづくりなどによって、質の高い多様な教育の機会が与えられます。</p> <p>(※略)</p> <p>これら以外にも、ICTの活用や多様な施策の組み合わせによる環境に配慮したまちづくり(スマートシティ)の推進など、政策分野を越えて横断的に取り組むべき課題が多くあります。これらを解決していくためには、人口減少社会の到来を前提として、生産年齢人口(15歳~64歳)の定住化を促進する積極的な取り組みや、超高齢社会に適応した施策を展開するなど、区政の持続的な発展を可能とする戦略を基本計画に盛り込んで実践していくことが重要です。</p>	<p>第11回審議会における「施策・組織横断的に協働・連携する戦略の基本的な考え方」の審議結果を踏まえ、戦略の基本的な考え方を追加します。また、子育て世代の例示において、出産前から安心して子どもを産むことができる環境づくりが大切であることを表す文言を追加します。</p> <p>さらに、環境に配慮したまちづくり(スマートシティ)について、環境分野にとどまらず広い意味で捉えていることを表すため、「ICTの活用や多様な施策の組み合わせによる」という表現を追加します。</p>

中間答申	最終答申案	摘要欄
<p>(3) 地域特性を活かしたまちづくり (※略)</p> <p>(4) 基本計画を推進する区政経営のあり方 (※略)</p> <p>さらには、都市としてのイメージを高め、住みたい・訪れたいと思わせる魅力を創造し発信する戦略的なシティプロモーションや都市構造の再編・整備に取り組み、生産年齢人口の定住化による税収増などを図る都市経営の視点も不可欠です。 (※略)</p>	<p>さらには、<u>ターゲット（対象）を明確にする</u>とともに、<u>東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される 2020 年や団塊の世代^{※5}がすべて後期高齢者（75 歳以上）となる 2025 年といった時間軸を意識して目標を定め、限られた資源を集中的に投入する中長期的な戦略を立てて、政策分野や組織を越えて横断的に取り組むことが必要です。</u></p> <p>(3) 地域特性を活かしたまちづくり (※略)</p> <p>(4) 基本計画を推進する区政経営のあり方 (※略)</p> <p>さらには、<u>地域資源の強みを活かした施策の充実を図り</u>、都市としてのイメージを高め、住みたい・訪れたいと思わせる魅力を創造し発信する戦略的なシティプロモーションや都市構造の再編・整備に<u>取り組むこと</u>によって、生産年齢人口の定住化による<u>税収増や交流人口^{※8}の増加による地域経済の活性化</u>などを図る都市経営の視点も不可欠です。</p>	<p>パブリックコメントでは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、インバウンド（外国人の訪日）が増えるという追い風を受け、板橋の地域資源を最大限に活かす施策、区のふるさと資源のさらなる発信強化を期待する意見がありました。審議会の考え方としては、地域資源の強みを活かした施策の充実を図り、併せて戦略的なシティプロモーションを展開することによって、板橋の魅力を発信していくことが重要であり、この考え方は、施策全般に共通する基本的な考え方として、基本計画を推進する区政経営のあり方の中で、わかりやすい表現を検討するところとしました。都市経営の視点の中に、「地域資源の強みを活かした施策の充実を図り」という表現を追加します。また、「施策・組織横断的に協働・連携する戦略の必要性」において追加した戦略の基本的な考え方を踏まえ、都市経営の視点の例示として「交流人口の増加による地域経済の活性化」を追加します。</p>

※5：1947（昭和22）年～1949（昭和24）年に生まれた世代のことを指します。

※8：定住人口に対する概念として、観光、レジャー、通勤・通学、留学・ビジネス等による滞在など、区外から訪れる（交流する）人のことを指します。